

2018年3月10日

公益財団法人日本卓球協会 強化本部

2019世界卓球選手権ブダペスト大会(個人戦)男女日本代表選手選考基準

- 大会期日：2019年4月21日～4月28日 ハンガリー：ブダペスト
- エントリー数：男女シングルス3～5名、男女ダブルス各2ペア、混合ダブルス2ペア
- シングルスは各協会原則出場枠が3名となる。しかし以下の条件をクリアすれば出場枠がその協会に対し最大2名追加される。
 - 2019年1月世界ランキング(以下WR)100位以内にその協会の選手がランクインしていれば1名出場枠が追加される
 - 2019年1月WR20位以内にその協会の選手がランクインしていれば1名出場枠が追加される

1. 男女シングルス代表5名の選出方法

- (1) 2019年1月発表のWR20位以内の日本人最上位選手：(1名)
- (2) 2019年1月発表のWR100位以内の日本人最上位選手：(1名)※(1)のWR20位以内の日本人最上位選手を除く
- (3) 国内選考会の優勝者(1名)
- (4) 平成30年度全日本卓球選手権大会男女各シングルス優勝者(1名)
- (5) 2018年1月1日～2018年12月31日までの国際大会(アジア競技大会、ワールドカップ、アジアカップ、ワールドツアーラチナ6大会、ワールドツアージャパンオープン、ワールドツアーグランドファイナル)においてシングルスで2回以上優勝した者の中から1名。(1名)
※重複した場合は強化本部にて選出
- (6) 上記(1)～(5)により選出された人数が、同一選手が重複して選出させるなどして5名に満たない場合は、次の2点を勘案し強化本部にて選出する。
 - ・ 2018年1月以降の主要国際大会の実績と内容の評価
 - ・ 国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手の評価

2. 国内最終選考会への出場資格(但し、下記*に該当するITTFの定める世界選手権出場資格を有する者)

*開催日程：2019年3月2日(土)(於：宮城県：仙台市体育館)

- (1) 2018年ワールドツアーグランドファイナルシングルス出場者
- (2) Tリーグの2018年10月～12月末までの試合で最多勝の者(外国籍選手を除き日本選手の中で最多勝の者、最多勝数で重複者が出た場合は強化本部にて選出)
※2018年9月理事会にて最終決定する。
- (3) 国内第一次選考会上位者から上記2-(1)(2)該当者を含め8名まで。
※8名による大会で優勝者のみが代表内定者となる。
- (4) 国内第一次選考会 *開催日程：2018年12月18日(火)～20日(木)(於：宮城県：宮城野体育館(仙台市))
 - 1) 平成29年度全日本卓球選手権大会シングルスベスト4の選手
 - 2) 2018年ジャパントップ12大会優勝者
 - 3) 平成30年度日本卓球リーグビッグトーナメント大会優勝者
 - 4) 平成30年度全日本社会人卓球選手権大会シングルス優勝者
 - 5) 平成30年度全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)シングルス優勝者
 - 6) 平成30年度全日本学生選抜卓球選手権大会優勝者
 - 7) 平成30年度全国高校総合体育大会シングルス優勝者
 - 8) 平成29年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部優勝者

- 9) 平成30年度全国中学校卓球大会シングルス優勝者
- 10) 平成30年度全日本卓球選手権大会カデット（13・14才）の部各優勝者
- 11) 平成30年度全日本卓球選手権大会ホープスの部優勝者
- 12) Tリーグの2018年10月～11月末までの試合で5勝以上した者

※2018年9月理事会にて最終決定する。

- 13) 上記1)～12)の人数に2018年12月発表のWR 日本人上位から選手を追加し20名までとする。

3. 出場種目 *代表選手のシングルス以外の出場種目ならびにペアリングは強化本部で決定する。

- 1) シングルス：3～5名
- 2) ダブルス：2ペア
- 3) 混合ダブルス：2ペア

*ダブルス及び混合ダブルスには、シングルの代表選手の他、4名を上限として加えることがある。

4. 補足基準

- (1) 上記1-(1)～(6)の代表候補者は2019年3月3日(日)開催のジャパントップ12大会に出場することを条件とする。
- (2) 代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手は強化本部にて決定する。

*なお、他の国と地域の協会から日本卓球協会へ登録を移籍した選手は、ITTFの定める世界選手権出場資格要件を満たしていることが、選考の前提条件となる。

以上